

《こんな子は心配?》 ～「気になったら相談してみると良いかもしれないよ」リスト

発達「気になること」は、本人の特性（個性、性格、凸凹）による不便さだけではなく、環境（制度や体制、理解や偏見など）による障壁によって起こっている問題（困りごと）です。子どもを「治す、正す」ではなく、本人や周囲の困りごとを減らす、無くすために、一緒に支援を考えて、協力して実行することが大切です。

このチェックリストは、支援につながってほしいという願いから作成しました。気になることがあれば、家族で抱え込まずにぜひ、気軽に相談してください。きっと、いい育ちにつながります。

0～2 歳 いつも、とても激しく泣く、一度泣くと、いつまでも泣き止まない、ほとんど泣かない、静か過ぎる
スキンシップが難しい（抱っこすると体を反らすなど）、目線が合わない、ほとんど笑わない
人見知りがひどい、または 人見知りを全くしない
2 歳を過ぎててもことばが出ない
じっとしていない、落ち着きがない
育てにくいと感じる

3～6 歳 ことばが遅い
名前を呼んでも振り向かない（集中して遊んでいるときなどを除く）
好き嫌いがとても激しい
激しいかんしゃくがよく見られる、泣いたり怒ったりがいつまでも続く
集団の中でもいつも一人遊び、子どもと関わるのを嫌がる
貸すことができない、「貸して」と言わずに奪う
いつでも一番でないとダメで怒る（勝ち負けにこだわり
限局した遊びを繰り返す、ごっこ遊びができない
異常なほど怖がり屋、不安が強い
トイレトレーニングが全然できない
静かにする場面でもじっとしていられない、順番が待てない、気が散りやすい



小学生 離席がある、授業中じっとしていられない、絶えず体のどこかを動かしている、待てない
気が散りやすく、次々に新しいことをしたがる
忘れ物や失くし物がとても多い、カバンの中や机の中がグチャグチャ
コソコソやる勉強がとても苦手集団行動ができない、共同作業ができない
暴言や暴力が目立つ
感情の抑制ができず、大声で騒いだり、泣き叫んだりする
文字が雑で汚い、筆圧の調整ができない（非常に濃い、非常に薄い）
こだわりが強く、融通が利かない
いつでも一番でないとダメで怒る（勝ち負けにこだわる）



これらの心配事が重なって困っている場合は、一度発達についての相談をしてみてください。
相談すると、子育てのアイデアが増え、子育ての考え方が広がります。子どもだけでなく、
周囲の人たちへの関わりも楽になることも多いですよ

⇒ P17「困りごとフローチャート」や P32 支援機関一覧へ

⇒ 村上市のペアレント・トレーニング講座



0歳から注意！メディアより親子で遊ぼう！

ゲーム、動画、TV、スマホなどのメディアで遊ぶことが、急速に増えた現代、子どもの脳に与える悪影響も明らかになってきました。メディアは**1日1時間程度**にして、残った時間で家族や友達と（一方通行ではない）人と人とのやり取り、「アナログな（実体験の）」遊びやお手伝いをするのが、子どもの脳の発達に良い影響をもたらします。何かを「子どもと一緒に」して、喜び、笑い、失敗し、成功のための工夫やチャレンジを共有する、「まあこのくらいで」「これでも大丈夫」と折り合う、ダメなものはダメと知るなど、多様な「頑張りや辛抱」を親子で経験すると、子どもは思い通りにならずとも辛抱したり、折り合いをつけることを学び、「心が安定」して、挑戦できるようになります。

（ゲームやTVは一方通行なので、脳は「一緒に経験した」とは認識しません。ご注意ください！）（P30に詳しく掲載）